

家庭教育応援NEWS

こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→



職場体験学習の受け入れ② ～只見中学校～

9月9日(火)、只見中学校の職場体験学習が行われました。家庭教育応援企業に登録していない企業も取材を受け入れていただきましたので紹介します。

さんべ農園

子供たちは、トマトに実がなるように、噴霧器を使って植物ホルモン剤を花に散布する作業を行っていました。

<代表取締役の方に聞きました>

「職場体験を受け入れてどうですか？」

体験の期間が短いので、これが農家の仕事だということは伝えきれませんが、学校の授業で体験に来る田植えや稲刈りなどとは違ったなかなか見ることのできない作業を体験してもらえたので良かったです。



(株) RISESAPEUR

子供たちは、トマトの収穫を行っていました。

<只見中学校の生徒に聞きました>

「体験先に選んだ理由は？」

ブランドである南郷トマトをどのように育てているのか興味がありました。地域のことが好きだし、将来は、農業関連の職に就きたいと思っています。



手作り工房あくいーる

子供たちは、パンの成形を行ったり、商品を店頭に並べたりしていました。

<只見中学校の生徒に聞きました>

「学んだことはありますか？」

パンを作るだけではなく、お客さんにより印象をもってもらえるようにしているということを教えていただきました。接客や挨拶など、人との関わりが大切だということが分かりました。



新規家庭教育応援企業の紹介

合同会社ねっか

只見町の合同会社ねっかでは、従業員が学校行事に参加することができるように働きかけたり、学校に出向き子供たちの学習に協力したりするなど、家庭教育を推進していただいています。

また、南会津高校と只見高校の3年生を対象に、卒業前の思い出づくりの一つとして、また地元の”ものづくり”に直に触れてほしいと始まった「18歳の酒プロジェクト」を行っています。子供たちに、年間を通じて「酒米づくり」と「酒造り」に参加してもらい、できたお酒は「成人式の日」にプレゼントするそうです。20歳の誕生日には、そのお酒を家族で乾杯することになるかもしれませんね。

